四代中尾和山著

| 日日日人チレ | 前の上からつなかった | 一旦 刻み下り消す | さいたと | 1 → Ħ | 4/4 徐 | |
|----------------------|--------------------|-----------------------|--------------|--------------|--------------|---|
| 世世人チレ ツレチンツレチ 人・ヒタービ | なった感じて | う消す | たが | が対ける | - | 木 |
| チッレチ | 1 | 191 | 17-72 D Gara | 7 | チープラーナル | 枯 |
| | 0 | 人 上 一 人 本 | TAI- | 10 M | 710 | (流祖中尾都山作曲) |
| 事業 | ガデ | デーン学人大人」 単人 | 至三五五 | しい直に弱めてからます | 總体以弱人 | |
| 30 am | える。 | というけんこ | うくロッーロー | てからます | 消えるかりのかんとして上 | 大正土年十一月作 |
| からな もず不 | ・テレッレ カス速 スタッカー | 一打 | レーチヘチ | 3-11 | | 作 |
| サール・サードに とり | けんだなで行く | おとしの手法 | クリーカタリー | ペーロッー | F1 | 7 |

| 人人人大大人人人人大学 | 一年 真上路 | ツーは三新次東 |
|--|---------|--------------|
| 到那帮你一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个 | ウン | 人口ッーローグレーチヘチ |
| - 120 TOUT | い、別ましつし | 小山人 |
| PP PP | 天心之人 一 | 学りによる |

n てか流そ大散流解 し祖の正策祖説 「は廃十のは 木自墟二一東枯作に年刻京 ににつ関楽移 つつた東し住 いい時一まの ては、月刊はれました。 上 寺 の周辺(芝公園)をこよなく愛され ŧ した。 そして折 15

誌経中大 「緯は震 三や空災曲解虚に 」の大正十三年十一月号に流祖自身の文章(説を文章にすることが、ほとんどありませそのものであったと想像できます。 しょり、この辺一帯は一朝にして烏有に帰り しま L た

「大震災後の芝公園は私の心身を奪ったかと思はれる程、楽想を錬るにふさわしいこの流祖の文章「自作『木枯』」の一部を引用します。ています。かし「木枯」については、月刊誌「三曲」の大正十三年十一月号に流祖・流祖は自作品についての作曲の経緯や解説を文章にすることが、ほとんどその廃墟に立った時の流祖の胸中は空虚そのものであったと想像できませ んでし

自身の文章が

掲載

た。 3

دۇر

れし

ŧ もの がありました。 秋

即

秋も暮れ初冬の風もうそ寒い此の公園に、梢淋しい冬木立、それを吹く風に心を奪はれ-興的に感じた気分そのものが即ちこの木枯という曲となって現れたのです。(中略)ふと板垣伯の銅像の高所に到つた時、こみあげる感想はおのずから曲となって流れるが-余程更けておりました。(中略) に意(こころ)はふるへました。(後略)」 た 私 は 立 ちつく

都 山 流 百 年 史 より)

如

く、

そ

0

時



平成十八年 五 月三十日 第三版·発行平成十四年 一 月二五日 初版 印刷 振替口座 〇〇九二〇-九二二二二番 下AX(〇六)六二五一一七七三五番 FAX(〇六)六二五一一七七三五番 FAX(〇六)六二五一七七三五番 京都市北区紫野北舟岡町一二競都山流尺八楽会出版部 四代 中 **註** 総発売元 JII 尾 (機谷営業所) 都 Ш Chords Printed in Japan ©

No. 0013-1

Kogarashi (Tozan) _{1-877-9CHORDS}